



文化や生活習慣の違い

- ・外でも裸足か靴下で歩いている事がある
- ・道路のわきに車が停められるスペースがある
- ・学校や町内のどこにでもゴミ箱がおいてある
- ・店内で飲み物を飲みながら歩いている
- ・信号があまりない
- ・大きな町には、貸し出し用のキックボードがあり、キックボードで移動している人がいた
- ・多くの家に暖炉がある
- ・電線がなく、街の中がスッキリしている



NZ FOOD

ニュージーランドの有名な食べものはパブロバ、フィッシュ&チップス、ラム、ホーキーポーキーなどです。ラムは羊の肉です。パブロバはメレンゲを焼いたもので、とても甘いですがキウイフルーツやいちごなどと中和されていてとてもおいしかったです。フィッシュ&チップスは揚げた白身魚とフライドポテトがもりつけされていて、日本のケチャップのようなをつけて食べていました。ホーキーポーキーはアイスでキャラメルとバニラがマーブル状になっており、中にキャラメルの粒が入っていておいしかったです。他には日本で言う酢豚を少ししょっぱくしたものにパイナップルを入れてあるものや、チーズをブロックで買って、毎食くりおろして使っていました。NZの食べものはすごくおいしく、また食べたいものばかりでした。



ダーフィールドハイスクール

ダーフィールドハイスクールについて説明します。校舎にはほとんど廊下がなく移動教室の際は一度外にでてから次の教室へ行くという流れになっています。各教室にはアルファベットと番号が振り分けられており、どれがどの教室なのかわかるようになっていました。でも、自分には終始理解できませんでした。体育館は2つあり片方にはボルダリングのできる壁がありました。バスプールにはバスが10台ほどとまつていてとても壯觀な眺めでした。男子トイレは、金属製の壁だけという簡素な造りとなっていました「本当にトイレ?」と思う見た目でした。キャンティーンは購買のことなのですが、湧別高校にある購買より大きく、良い香りがしました。ニュージーランドでは座学よりスポーツの方に注目が向きやすいので、校庭にバスケットボールコートがたり、グラウンドが2つあったりと学校の敷地はとても広いです。授業については、ニュージーランドでは日本と机の配置に差異があり自習時間になると各々スマホで音楽を聴いて集中しやすい状態で自習をしていました。



教室。他の教室に行くときは、一度外に出て移動する。○で囲ってあるのが教室の番号。



体育館にある、ボルダリング壁。



約10台のスクールバス。多くの生徒がスクールバスで通っています。



ハンバーガーやおにぎりも売っている、キャンティーン。



広いグラウンドには、バスケットボールやラグビー場もありました。



授業中の様子。各自で作業することも多い。

NZに行った感想！

ニュージーランド派遣については正直なところ行く前からずっと不安で頭がいっぱいでした。向こうに着いてからも話す相手の英語が聞き取れず、あたふたしていました。ですが日を追うごとに少しずつ相手の話していることが聞き取れて理解できるようになってきました。そこで改めてコミュニケーションの大切さと楽しさを実感することができました。日に日にホストファミリーの言っていることが分かるようになるのが楽しく感じました。ホストファミリーやバディなどニュージーランドの人と話す際には迷惑をかけてしまつて申し訳ないという気持ちとその人達のお世話になつてとてもありがたいという気持ちがありました。知らない人にも気楽に“Hello”と言うこともできて日本との大きな差異を感じることができました。とても良い経験を積むことができて「行って良かった」「できればもう一度行きたい」と思うことができて良かったです。 金澤 翼

ニュージーランドでは特に乗馬が楽しかったです。羊もたくさんいて可愛かったです。英語を話すのは難しかったけど良い経験になりました。優しいホストファミリーで良かったです。湧別町という小さな町から国際的な交流ができるのはすごいことだと思いました。

小澤 泉月

2週間という短い期間だったけどとても充実した2週間でした。今回の留学でニュージーランドの魅力を多く学ぶことができました。特にニュージーランドに生息する鳥のユニークさやニュージーランドの人の親切さが印象的でした。今よりも英語ができるようになった後、もう一度ニュージーランドに行きたいと思いました。 森谷 雄大

違う国へ行って、日本とNZの文化の違いを知れこんな国もあるんだと思ったのと、改めて日本はすごく良い国だという事がわかりました。行くまでの準備はすごく大変だったけど行ってすごく良かったです。 久保 淳聖

私は、初めてニュージーランドに行って、ホストファミリーと話したり、学校へ行く時のバスで色々な人から話しかけてもらえたのに最初は、きんちょうして全然こたえられなかったのに、みんなやさしく毎日声をかけてくれてきんちょうもほぐれて、帰るころには、ゆっくりですが話せるようになって2週間で思った以上に英語力がついてとてもいい経験になりました。 藤原 もな



初めは不安が8割9割で行く実感などはなかったのですがオーランド行きの飛行機でわくわくし始め、ホストファミリーと会う前にもまた不安が押しよせたのですが、私のホストファミリーは快く受け入れてくれたし、色々なところに連れていってくれたりしてくださったので、本当に楽しめました。とても充実した留学でした。 齊藤 萌

